



こうごしま 議会だより

No. 162

平成 26 年 11 月 28 日 発行 / 神津島村議会 編集 / 議会だより編集委員会 ☎ 04992 (8) 0011
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



神津島 2014 秋

(左 : 議会奥多摩町自主視察研修 右 : 村民大運動会)

目 次

- ◇ 平成 26 年第 3 回定例会 (9 月 2 日から 30 日までの会期) 2
 人事案件 1 件、条例 10 件、村民憲章の制定 1 件、平成 26 年度補正予算 6 件、
 平成 25 年度決算認定 6 件、地方公共団体財政健全化に関する法律に伴う報告 1 件
- ◇ その他 5
 議会コラム、議会日誌、編集後記、他

平成26年第3回定例村議会

人事案件1件

◎同意第2号「神津島村教育委員会委員の任命について」
 村長(石野田富弘君) 教育委員として松江久人氏を選任するもの。

《原案同意》

条例10件

◎議案第29号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」

空港消防所長(石田修治君) 主なものとして消防団の報酬額を、団長、年額15万円、団員、年額1万円とするもの。

3番(清水勝彦君) 今まで団員に報酬を払っていなかったという経緯も踏まえ、額を平均か平均以上に上げるべきではないか。

空港消防所長 1年から2年の経過後、再協議を考えている。
 9番(松江孝雄君) 費用弁償だが各島と比較して火災、風水害が低い。警戒でも最も低い金額だが、見直しをしていただきたい。
 空港消防所長 この件についても報酬とともに1年から2年の経過を見たい。

経過を見たい。

《原案可決》

◎議案第30号「神津島村消防団条例の一部を改正する条例」
 空港消防所長 主に報酬に関する「団員」の追加及び旅費に関する文言の訂正をするもの。

《原案可決》

◎議案第31号「神津島村職員の新任用に関する条例」

総務課長(中村勝二君) 国の任用の条例に準拠し、新たに任用に関する条例を制定するもの。
 4番(山岸義光君) 再任用されると、新しく採用する人の枠が減るとのことか。
 総務課長 可能性はある。

1番(松本裕一君) 勤務実績が良好である場合に行うことができるとは、課内の職員の同意を得るとのことか。
 総務課長 担当課長が第一次的に判断をし、その後、副村長が判断する。

2番(鈴木国忠君) 再任用の間は最終的に5年ということになるのか。
 総務課長 そのとおりで、65歳まで再任用の期間となってくる。

9番 再任用された方は毎年度更新ということか。
 総務課長 任期の更新は1年ごとになる。

《原案可決》

◎議案第32号「神津島村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例」

総務課長 神津島村職員の再任用に関する条例の制定に伴う条例改正。

《原案可決》

◎議案第33号「神津島村職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」

総務課長 神津島村職員の再任用に関する条例の制定に伴い、再任用に関する項目を追加したもの。
 2番 有給休暇は再任用の職員であつても最高40日までとれるということか。
 総務課長 そのとおり。

7番(中村親夫君) 傷病休暇のところ、結核性疾患にあつては、1年を超えるときは従前の例により給料を半減する。改正後はそれが削除されているが、理由は、総務課長 結核の患者が最近は出ないことによる。

《原案可決》

◎議案第34号「神津島村職員の育児休業等に関する条例の

一部を改正する条例」
 総務課長 神津島村職員の再任用に関する条例の制定に伴い、再任用に関する項目を追加したもの。

《原案可決》

◎議案第35号「神津島村常勤職員に対する給与条例の一部を改正する条例」

総務課長 神津島村職員の再任用に関する条例の制定に伴い、再任用に関する項目を追加したもの。また、人事院勧告に基づいて勤勉手当の支給率の改正をおこなうもの。

《原案可決》

◎議案第36号「神津島村乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」

福祉課長(清水一正君) 第三者行為、交通事故等加害者のある事故等によって生じた場合の医療費の助成の実施及びその求償、賠償等のことにつき、一部改正するもの。
 4番 事故があつたときに被害者に対して支払われる補償を村が立てかえるということか。

《原案可決》

◎議案第37号「義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」
 福祉課長 第三者行為、交通事故

等加害者のある事故等によって生じた場合の医療費の助成の実施及びその求償、賠償等のことにつき、一部改正するもの

《原案可決》

◎議案第38号「神津島村ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」

福祉課長 第三者行為、交通事故等加害者のある事故等によって生じた場合の医療費の助成の実施及びその求償、賠償等のことにつき、一部改正するもの。
 4番 村民にはこの内容をどのような形でお知らせするのか。

福祉課長 今月中に全戸配布、またケーブルテレビ等で各戸にお知らせしたい。

《原案可決》

村民憲章1件

◎議案第39号「神津島村民憲章の制定について」

総務課長 神津島村の村づくりの方向性や村民が村づくり的主体的に取り組んでいくための目標とするため、神津島村民憲章を作成するもの。

7番 第3回定例会において一般質問をした。村長の任期中にこの議案が提出されたことにつきましては喜ばしく思っている。村民に周知するための方法は、総務課長 広報こうづ及び神津

島村ホームページ上で村民憲章の制定の条文を表記する予定。

《原案可決》

補正予算6件

◎議案第40号「平成26年度東京都神津島村一般会計補正予算(第2号)」

企画財政課長(前田 弘君)

歳入歳出それぞれ3千792万2千円を追加するもの。

7番 離島活性化交付金だが、開発センターの保全改修工事がこの補助事業の対象となつたというところか。

企画財政課長 そのとおり。

8番(石田高道君) 農業研修施設のところ、3名募集のところ2名ときいたが現状は。

産業観光課長(清水 豊君)

2名の農業研修生がカリキュラムにのっとって研修業務を行っている。

8番 その2名の研修生の中の1名は、違う職場で働いているようだが。

産業観光課長 1名の研修生は他で就職し、兼業している。

9番 地方交付税の額は確定額か。

企画財政課長 おおむねこれで決まりである。

1番(松本裕一君) 農業研修施設は正計画とは。

産業観光課長 東京都からの指導によりは正図面等を作成する

もの。

2番 地方交付税の単位費用だが、年々減額傾向にあるのか。

企画財政課長 単位費用の変更はそんなにあるものではないが、人口に係る単位費用の変動により、今回は減額になった。

3番(清水勝彦君) 造成設計委託料の減額は候補地が変更することによるものか。

環境衛生課長(土谷清春君) そのとおりであり、計画の見直しを行ったことによるもの。

3番 佐久市友好都市締結20周年記念訪問団の詳細を。

産業観光課長 佐久市から一般市民の方が20名ほど来島することに伴い、神津との交流をしたいとの申し出があり計上したものの。

7番 生きがい健康センターの空調施設改修工事が大きな減額になっているが理由は。

福祉課長(清水一正君) 施設の一部に建築基準に適合していない箇所があり、来年度以降に工事を見送ったため。

7番 裁判に係る弁護士料の減額理由は。

企画財政課長 固定資産の差し押さえに係る住民訴訟が確定したことに伴う減額。

8番 温泉施設使用料の減額理由は。

産業観光課長 湯温の低下に伴う利用者の減と半額料金での利用によるもの。

9番 水道技術管理者資格だが

現在何名いるのか。また、今回は何名取得するのか。

環境衛生課長 現在、水道技術管理者の資格を得ているのは1名、また今回取得するのは1名。

4番 オリジナルピック教育推進校と言語能力向上拠点校とは。

教育課長(藤井小百合君) オリジナルピック教育推進校事業はスポーツを通して心身の発達や平和な社会の実現に貢献することができるよう教育を推進すること

ものが、言語能力向上拠点校事業は伝統的な言語文化の理解や言語の技能育成の取得を推進するもの。神津小学校が推進校に指定された。

2番 住基ネットS E支援委託料の説明を。

福祉課長 住基ネットの端末操作をする者の静脈認証、生体認証、手のひらをかざして認証するというものを一式設置追加するもの。

9番 神社公園遊具等施設修繕料の追加、今後も遊園地として利用していくのか。

福祉課長 現状あるものに対しての修繕。いずれは鎮守の森に返していく方向で考えている。

《原案可決》

《原案可決》

◎議案第42号「平成26年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」

福祉課長 事業勘定は歳入歳出それぞれ2千3万7千円を追加するもの。

保健医療課長(清水博可君) 直診勘定は2百80万4千円を追加するもの。

2番 保険給付費の一般被保険者療養給付費の追加をしているが、今年はこの額で間に合うのか。

福祉課長 最終的にここぐらいまでにおさまればというところまで推計して今回補正をした。

《原案可決》

◎議案第43号「平成26年度東京都神津島村農業集落排水特別会計補正予算(第1号)」

環境衛生課長 歳入歳出それぞれ8百30万8千円を追加するもの。

《原案可決》

◎議案第44号「平成26年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算(第1号)」

福祉課長 歳入歳出それぞれ1千百76万2千円を追加するもの。

《原案可決》

◎議案第45号「平成26年度東京都神津島村後期高齢者医療

特別会計補正予算(第1号) 福祉課長 歳入歳出それぞれ1百26万6千円を追加するもの。

《原案可決》

決算認定6件

◎認定第1号「平成25年度東京都神津島村一般会計歳入歳出決算の認定」

9番 不納欠損額が減った理由を。

企画財政課長 再評価の結果、減額になった。

9番 徴収率が向上し未済額が減っているが主な要因は。

企画財政課長 特別徴収プロジェクトチームを実施する中で悪質な滞納者については法的措置もと取り、良い方向に向かっていく。

3番 農業施設使用料の収入未済16万5千円、これは1件か。

環境衛生課長 1件ではない。

3番 毎年未済が繰り返しているのか。

環境衛生課長 未済の中でかなり大口の世帯があり、毎年繰り返している。

9番 歳出の衛生費委託料で当初、予定した受診者の数と実績は。

保健医療課長(清水博可君) 住民健診委託料100名予定で実績が76名。消化器検診は胃がん検診が、200名予定で

149名、大腸がん検診が、

130名予定で118名、組織検査20名予定で3名、婦人科検査子宮がん検診が、150名予定で130名、乳がん検診、160名予定が151名、結核検診120名予定で113名の受診となっている。

9番 PRの方法で何か考えることはないのか。

保健医療課長 全戸配布の広報紙チラシ、テレビ3チャンネルを利用して努力していきたい。

2番 衛生費塵芥処理費の不用額の理由は。

環境衛生課長 粗大ごみ焼却場、アルミ缶村等に係る施設の修繕費。修繕が発生しなかった為、予算が残った。

2番 最終補正予算等で減額できる要素が十分あったのではないのか。

環境衛生課長 おっしゃるとおりで、今後は精査しながらやっていきたい。

9番 民生費の大きな不用額の理由は。

保育園長(連 奈美江君) 以前、3月の中旬に2歳児が入所した経緯もあり残した。

《一般会計原案認定》

◎認定第2号「平成25年度東京都神津島村簡易水道特別会計歳入歳出の決算の認定」

◎認定第3号「平成25年度東京都神津島村国民健康保健特別会計歳入歳出決算の認定」

◎認定第4号「平成25年度東京都神津島村農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定」

◎認定第5号「平成25年度東京都神津島村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定」

◎認定第6号「平成25年度東京都神津島村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定」

(認定第2号、認定第6号の上程)

2番 簡易水道の使用料及び手数料、水道使用料の収入未済額がかなり減っているが理由は。

企画財政課長 昨年から特別徴収プロジェクトチームの中に取り入れたことが主な要因。

9番 農業集落排水特別会計歳出の需用費での不用額の説明を。

環境衛生課長 施設の修繕が発生しなかったことによるもの。

9番 居宅介護福祉用具購入費の不用額だが、要望がなかったのか。

福祉課長 要望が2件のみだったため。

2番 国保会計の雑入が予算額に対して多いが臨時的な雑入があったのか。

福祉課長 島外の医療機関から誤って多く請求が出されていたものが判明し、年度末に歳入として上がったため。

《特別会計原案認定》

◎地方公共団体財政健全化に関する法律に伴う報告

代表監査委員(清水 勉君)

神津島における健全化判断比率及び資金不足比率・その他比率収支等、適正であると認める。村長 監査委員から財政健全化比率は適正であると認めていただいた。実質赤字比率、連結赤字比率については当面赤字決算になる懸念はない。実質公債費比率、将来負担比率については、今後予定されているごみ処理施設整備事業、特養ホーム、大規模改修事業等に伴う償還金額の増加、それから地方交付税の減少により比率の上昇が予測されている。また、今後は地方交付税の変動についても視野に入れていかなければならない。より一層の歳入財源の確保、経常経費の削減に努めていかなければならない。



平成25年度各会計決算状況

(単位:円)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	滞 納 額	内 容	
一 般 会 計		2,705,207,026	2,646,143,856	12,586,679	村税・固定資産税・軽自動車税等	
特 別 会 計	簡 易 水 道 特 別 会 計	69,473,912	68,510,544	3,881,830	水道使用料	
	国民健康保険 特別会計	事業勘定	488,015,960	451,333,006	11,652,385	国民健康保険税
		直診勘定	227,839,000	222,674,006	243,800	外来収入
	農 業 集 落 排 水 特 別 会 計	89,995,299	81,386,439	1,723,855	下水道使用料	
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	233,825,960	230,079,383	1,848,120	介護保険料	
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	43,190,833	41,624,004	386,800	後期高齢者医療保険料	
合 計		3,857,547,990	3,741,751,238	32,323,469		

議会コラム

1 番 松本裕一議員

人口減少社会に思う

1901年日本の人口は4436万人。その後着実に増え続け1967年には1億人を超え、そして2004年には1億2778万人まで増えました。しかし2004年をピークにそれ以降は少しずつ減少しています。国立社会保障・人口問題研究所の将来人口予測によりますと現在の傾向が続けば2101年になるころ日本の人口は4706万人まで減少するという事です。日本の国民が少子化を望んでいるわけではありません。日本は子育てにお金がかかります。また女性の場合就労と育児の両立が容易ではありません。このような社会問題、経済的な問題が解決でき少子化対策をきちんと進めれば、極端な人口減少は起こらないと言えます。

(以上資料・奈良女子大、大学院・中山徹教授)

これからの神津島は人口減少が村の衰退につながらないような村づくり、村民の生活向上につながるような村づくりを展開しなければならぬと思います。例えば人口減少によって空いた土地を活用すること・空家の増えた住宅を高齢者施設等に転用するなど。そしてその前に先ず人口減少に歯止めをかける方策を練る。先般行われた神津島村長選において焦点となりましたが、保育料の無料化・結婚、妊娠、出産への支援

強化・住民健診等の無料化を実現させること、これは、10月7日臨時議会における新村長による所信表明でも明言されました。8月の「議会だより」で松江議員がコラムに於いて少子化対策について掲載されました。私も同様に危機感を抱き住民の皆様の暮らし・仕事・そして結婚・子育てについて現実を見極めながら人口を増加させるための環境を整備することに私達の孫子を苦境に陥らせないためにも村行政、そして

議会に課せられた早急な仕事であると考えます。ちなみに26年8月29日発行の「広報こうづ」によりますと村人口は1935人ですが26年後の2040年は1026人という人口予測が調査会社から発表されています。長期的にみれば人口減少は避けられないと思いますが万全な少子化対策をとり急激な人口減少を避け、緩やかな人口減少社会を前提にさまざまな施策を島全体で考えなければなりません。重ねて申しますが将来の神津島を見据えて人口減少問題を直視する気運を高め拡充・充実・具現化したいことが私の思いです。先の臨時国会において総理による「地方創生の基本理念」で、まち・ひと・しごと・を重点にした方針が発表されました。若者が参入できる事業の拡大等、我々の神津島に波及効果を期待したいところです。

議会コラム

2 番 鈴木国忠議員

姿を消した海藻や貝

地球温暖化が影響していると思われる現象をTV等で見ることがあります。世界規模でのCO2削減が課題にもなっていますが、ここ神津島においては、沢尻、めいし、浦根方面の西海岸沿いをウォーキング途中、海辺を覗いて見ても海藻が全く見当たりません。浅瀬などで昔見かけたカビ(天草)ギンバ、ひじき等々の海藻やアワビ、サザエなど殆んど見かけなくなりました。トコブシやイセモにしても痩せた細った貝ばかりが目立っています。こうした海の砂漠化、「磯焼け」と呼ばれる現象だそうですが、なんとも異様な海の光景が以前から気になっていました。これは全国津々浦々、森の荒廃で環境が疲弊し、豊かな河川水が沿岸に張り巡らされた道路や護岸に阻まれるなど、海と森の循環プロセスが狂ってしまった事に磯焼けの原因があるとされています。

海藻を増やす切り札

「動物プランクトンや貝の餌となっているのは植物プランクトンや海藻で、海中の食物連鎖の基です。」三陸の牡蠣漁師、畠山重篤著(鉄で海がよみがえる)の一節です。畠山氏はNPO森は海の恋人代表で、気仙沼湾の上流室根山へ広葉樹の植樹運動を続け「植林する漁師」として知られています。又京都大学教授として、海の砂漠化は、伐採され荒廃した沿岸の森にそ

の原因があることを突き止め、検証と実証を重ね再生の切り札が鉄(Fe)である事を説いています。60年代高度経済成長期、森の木が切り倒され開発で環境が破壊され気仙沼湾では、赤潮が発生しカキやホタテの養殖が困難になりつつあった。時を同じく北海道日本海側のニシン漁が衰退し深刻な事態が発生していた。北海道大学水産学部の松永勝彦教授等による、海藻や植物プランクトンの生育には鉄分が必須であるとした研究成果が注視されています。など著されています。

豊かな海を取り戻す

その後研究の成果を受け、北海道のニシン漁は固より、松永教授との出会いで気仙沼湾でも豊かな海を取り戻すことができた。河川水と海水が混じり合う汽水域は、食物プランクトン、海藻が最も繁殖する海域である。どんなに豊かな海域でも、鉄分不足では植物プランクトンや海藻は増殖せず魚や貝は寄ってこないとしています。原因が分かったらその手立てを施せば良いこと。神津島は、鉄(Fe)に係わる証拠が多々ありますが、紹介については別の機会とします。

鈴木国忠議員からのあいさつ

皆様こんにちは。
去る、8月17日執行の村議会議員補欠選挙に於きまして、無投票での当選をさせていただけ、議員として活動の第一歩を踏み出しました。

農業・漁業・観光の振興と共に六次産業の推進、若者に夢と希望の持てる島づくりの推進等、皆様のご要望やご提案を村政に反映させるべく、微力ながら全力を尽くして参りたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。



議会からのお知らせ

10月20日～21日の日程で、神津島村議会議員全員参加にて、奥多摩町に自主視察研修に行つて参りました。

現在、奥多摩町が取り組んでいる、若者定住対策事業を中心に、わさび農園、水道施設等を視察し、有意義な意見交換会も開催されました。

石野田村長から議会へのあいさつ

(定例会最終日)

私が招集する最後の村議会が、本日をもって閉会ということですので、甚だ恐縮ではありますが、私の締めくくりの挨拶を申し述べさせていただきます。

振り返ってみますと、急逝された梅田善之村長を引き継ぎ、多くの方々のご支援、ご協力をいただきながら、平成18年10月から本年9月までの2期8年間、暮らしてよかったと実感できる島づくりの推進を掲げ取り組んできました。一口に8年と申ししましても、山あり谷ありの厳しい村政運営だったと思っております。大過なくという表現は、決して使うことのできないほど苦勞の多かった8年間でした。

私の残した実績等については、6月の定例会で一般質問され、その際の答弁に集約されていると思いますが、私なりに努力したものの、道半ばのものも残ってしまいました。私のやり残したことや懸案となっているものについては、次の村長が必ずや、やり遂げてくれるものと確信しております。

退任後は、体調を整え、体力が許せば神津島村に幾らかでも恩返しのできるようなことを模索してみたい、そういうふうな思っております。

結びに、本村がますます活性化し、安全で安心して暮らせる島、暮らしてよかったと実感できる島の実現がかなうことを願うとともに、議員の皆様方の弥栄とご健勝をご祈念申し上げます。私の最後の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございます。

議会日誌

Table with 2 columns: Date (平成26年) and Event. Includes dates from 30日 to 10日 with corresponding council activities.



編集後記

9月第3回定例会村議会は、村長選挙の関係で、9月2日開会、3日午前で閉会となりました。主な議案は条例改正が10件、一般会計、特別会計補正予算、平成25年度一般会計、特別会計の決算認定でした。この定例会には、8月17日に執行された村議会議員補欠選挙に当選された、鈴木国忠氏が出席しております。又、既にご存知のように9月21日には村長選挙が執行され、浜川候補が当選されました。これから、4年間村政を担うこととなりますが、「夢と希望を持てる安心して暮らせる島づくり」に、期待しております。

さて、10月になり、いよいよ秋本番です。食欲の秋、行楽の秋、読書の秋、そしてスポーツの秋は行事も多く多忙な時期で、既に中学校の運動会は終わりましたが、保育園、小学校、村民運動会と続きますが、天候に恵まれ予定通り開催されるよう祈っております。

そして秋は台風シーズン、台風18号が北上しており心配しております。災害が発生しないよう願っています。最近、日本の各地、外国においても豪雨により洪水や浸水、山の崩落が発生し多くの方が犠牲となっており、又、9月27日には御嶽山が噴火し、40数名の方が犠牲となっており、ご冥福をお祈り致します。国が24時間監視を定めた47活火山に、神津島も入っております。都知事も知事会見で、気象庁とともに常に観測体態勢を怠らず、気象庁、都、関係市町村、住民と連絡がしっかりと行くようにする。島外避難も地域の防災計画に入れ、噴火後の土石流対策も必要、万全を期して住民の生命を守ることに徹したいと発言しております。

- 「議会だより」編集委員会一同
委員長 松江孝雄
副委員長 松本裕一
委員 清水勝彦
委員 石田高道